

## 悔しい気持ちを大切に！

### ～定期テストを振り返って～

定期テストが終わり、もうすぐ前期の成績が返されます。今回のテストを振り返って、自分の取組はどうでしたか。学年全体として、提出物を完成できた人が減り、目標点に届かなかったという声を多く聞きました。

私は今回の結果を見てとても悔しいです。みなさんは入学したての頃よりずっとたくましく成長し、自分のことを自分でできるようになってきています。プリントや教材の管理も上手にできるようになり、忘れ物も減ってきました。わからないことがあったらわからないままにせず、友達や先生に聞くなど行動を起こせるようになってきました。使う言葉も豊かになってきて、場面に応じた言葉遣いができる人が増えてきました。授業等での指示や注意も、これまでは何度もされていたところが、1回で改善できることが増えたという実感はありませんか。みなさんはコロナウイルスの影響により、日々変化する学校生活や社会状況の中でも、力を付けてきました。自立に向け、一步一步進んでいるように思います。だからこそ、それが学習面での成果として発揮されてほしかった、というのが私の思いです。それはテストの平均点をあげてほしいということではありません。やるべきことはやったぞ、前回より定期テストに向けてしっかり取り組めたぞ、とみんなが思えるような定期テストにしたかったということです。そうすれば必然的に提出物を出せる人も増えるだろうし、学年全体の学習に対する姿勢が前向きになって、得点も結果的に上がったのだらうと思います。

みなさんは今回のテストの結果を受けて、悔しいと思う部分はあるでしょうか。私は全員に何かしらそういう思いを感じてほしいです。それが次の成長につながるからです。出せなかった提出物、出せたけど完璧に仕上げられなかった提出物、勉強不足で解けなかった問題、うっかりミスで間違えてしまった問題、ほとんど準備をせずにテストに臨んだ教科…何かしら思い当たるところがあるはずです。ご家庭でも今回のテストへの取組について話題にしましょう。そして家での時間の使い方についても話し合うきっかけにしてください。授業では理解できている、解説を聞けば解ける、でもテストになるとわからないというのは、家庭学習が不足しているからです。よく話し合ひましょう。

学習への取り組み方は学年の雰囲気が大きく影響します。提出物は特にそう感じます。出さなくていいやという人が多ければ、全体的にだらしなくなってきました。7年生のうちから、友達と声を掛け合って締め切りを意識したり、課題の内容を話題にしたりしていれば、1年後には提出物を出すのが当たり前な学年になります。そうなればプラスでさらに難しい問題に挑戦しようという人が出てきたり、学校行事や部活を勉強と両立させて頑張ろうという人が出てきたりして、学年全体が活気づきます。今回は課題によってはクラスの半分以上が未提出というものもありました。これはとても悲しいことです。8年生になったら、受験生になったら頑張ろうというのでは遅いです。今できることをしっかりとやれる学年になりましょう。今回の反省を生かし、学年全体として学習への姿勢を改善していくきっかけにできると良いですね。頑張りましょう。

